

地域経済分析システム（RESAS）



令和6年1月

内閣官房 デジタル田園都市国家構想実現会議事務局

ビッグデータチーム

地域経済分析システム (RESAS)

- 地域経済を活性化する上で、**地域の現状・実態の正確な把握**が必要不可欠。
- このため、地域経済に関連する様々な**ビッグデータを「見える化」するシステム (RESAS)**を構築し、地方創生版・三本の矢の「情報支援」として、2015年4月より提供。
- 地域のデータ分析の「入り口」として、**初心者でも簡単に使えるシステムを実現**。各自治体が「地方版デジタル田園都市国家構想総合戦略」のKPIを設定する際など、**地域政策の現場で幅広く活用**。



地域経済分析システム (RESAS) マップ一覧



<https://resas.go.jp>

①人口マップ



人口推計・推移、人口ピラミッド、転入転出等が地域ごとに比較しながら把握可能

②地域経済循環マップ



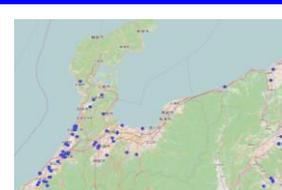
自治体の生産・分配・支出におけるお金の流入・流出が把握可能

③産業構造マップ



地域の製造業、卸売・小売業、農林水産業の構造が把握可能

④企業活動マップ



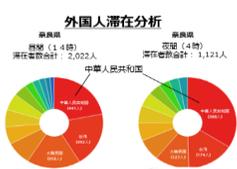
地域の創業比率や黒字赤字企業比率、特許情報等が把握可能

⑤消費マップ



POSデータによる消費の傾向や外国人の消費構造が把握可能

⑥観光マップ



国・地域別外国人の滞在状況等のインバウンド動向や、宿泊者の動向等が把握可能

⑦まちづくりマップ



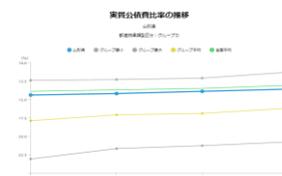
人の流動や事業所立地動向、不動産取引状況など、まちづくり関係の情報把握可能

⑧医療・福祉マップ



地域の雇用や医療・介護について、需要面や供給面からの把握が可能

⑨地方財政マップ



各自治体の財政状況が把握可能

総メニュー数の推移

<スタート時> <現在>
25メニュー (2015年) 86メニュー (2023年12月)
約358万PV (2015年度) 約1008万PV (2022年度)
※現在公開中のメニュー数

地方版総合戦略の策定におけるRESASの活用

- 地方公共団体におけるデジタル田園都市国家構想を踏まえた地方版総合戦略の改訂や地域ビジョンの検討を支援するため、地域経済に関するデータを活用できるEBPMツールを提供。
- デジタル田園都市国家構想に対応し、新たに内閣官房では地域経済に関するデータの利活用を支援するポータルサイト「RESAS Portal」を開設。サイト上で地域のデータを活用した政策立案事例や地域課題別のデータ分析の視点や分析手法を紹介する地域課題分析ナビゲーションを提供。
- また、デジタル田園都市国家構想総合戦略<データ集（参考資料）>では、地域別のデータをRESASで参照するためのQRコードを掲載しているほか、活用方法をコラムで紹介。

地方版総合戦略の策定・効果検証のための手引き

5-3「地域経済分析システム（RESAS）」等の活用

- 地方版総合戦略の策定・改訂に当たっては、社会課題の解決を効果的・効率的に推進するため、地域経済に関するデータを活用し、各地域の強み、弱みを含めた特性を客観的に把握した上で、講じる施策の根拠付けや数値目標及び重要業績評価指標（KPI）の設定、講じた施策の効果検証を行うなど、エビデンスに基づいた政策の企画立案を行っていくこと（EBPM）が重要となります。国では、地方版総合戦略の策定・改訂における地域のデータ利活用状況のフォローアップを実施するとともに、地域のデータ利活用の推進に向けて、地域経済分析システム（RESAS）をはじめとする以下のシステム等を提供しておりますので、地方版総合戦略の策定・改訂の際には、これらのシステム等を積極的にご活用ください。

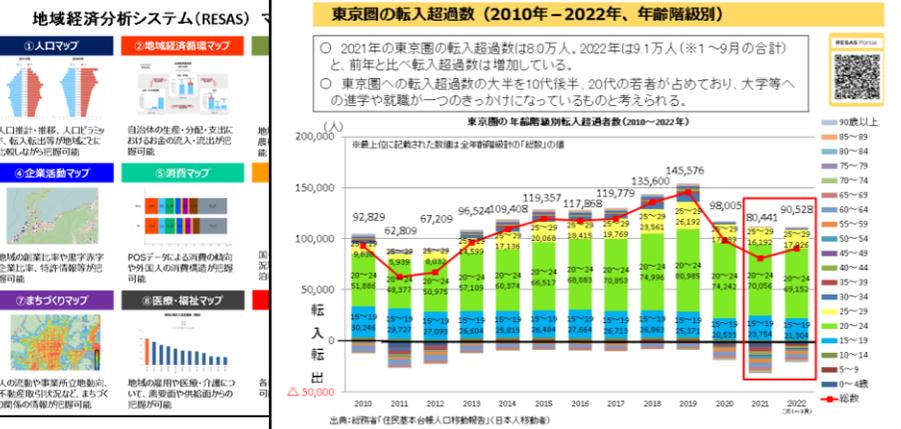
デジタル田園都市国家構想総合戦略<データ集（参考資料）>

（コラム）地域ビジョンの再構築や地方版総合戦略の改訂を支援するツールの提供

- 地方公共団体における地域ビジョンの再構築や地方版総合戦略の改訂に向けては、社会課題の解決を効果的・効率的に推進するため、地域経済に関するデータを活用し、エビデンスに基づいた政策を企画立案（EBPM）することが重要である。このため、国は、地域経済に関するデータの活用を支援するため、地域経済分析システム（RESAS：リーサス）や地域課題分析ナビゲーションを提供している。
- RESASは、地域経済に関する様々なデータ（人口、産業、観光等）を搭載している。また、地域課題分析ナビゲーションでは、RESAS等のデータを活用する際のデータ分析の視点や分析の流れを紹介しており、ナビゲーションに沿った形で地域ビジョンや戦略の検討を行うことが可能である。これらのツールは、地方公共団体の政策の企画立案や地域企業の経営判断、地域の教育活動など、地域の活性化に関心を持つ様々な分野の地域の担い手によって広く利用されている。



<https://resas-portal.go.jp/>



データ利活用サイト「RESAS Portal」

- ▶ デジタル田園都市国家構想に対応し、地域経済に関するデータの利活用を支援するためのポータルサイトとして、2022年9月に開設。
- ▶ 地域課題別のデータ分析の視点や分析手法を紹介する地域課題分析ナビゲーション、RESAS等のEBPMツールの使い方紹介のほか、地域のデータを活用した政策立案事例を検索できるデータベース（生成AIを活用したチャットボットによる活用事例検索機能を搭載）などのコンテンツを掲載。

RESAS Portal トップページ

地域経済の分析を行う

新型コロナウイルス感染症の影響を知る

RESAS
産業構造や人口動態、人の流れなどのデータを集約し、可視化するシステムです。

詳細を見る RESASサイトへ移動する

V-RESAS
人の流れや飲食・宿泊業など地域経済の足もとの動向を示すデータから、新型コロナウイルス感染症が地域経済へ与える影響を把握することができます。

詳細を見る V-RESASサイトへ移動する

RESAS API RESAS for Teachers データ分析セミナー 活用事例検索チャットボット

全て見る

データ活用事例 検索データベース

RESAS Portal 地域経済分析システムRESAS 利活用サイト

データを使う

活用事例検索

内閣府が提供する地域経済分析システム（RESAS）の活用事例に関するご質問にお答えします。

【質問例1】人口減少対策に取り組みたいのですが何か良い事例はありますか？
【質問例2】外国人観光客と地方創生の関係性について分析された資料はありますか？
【質問例3】ライフステージに応じた地域の実態について分析された資料はありますか？

活用事例について
地方創生政策アイデアコンテストに参加される方へ

01/10 17:27

メッセージを入力...

Powered by OfficeBot

RESAS Portal

<https://resas-portal.go.jp/>



生成AIを活用したチャットボットにより、データ活用事例の検索をサポート

地域課題分析ナビゲーション

- 地域でデータを活用した政策立案を支援するため、総合戦略等でよく扱われるテーマ（地域課題）について、EBPMの流れやデータ分析手法を紹介する参考資料として、地域課題分析ナビゲーションを整備。
- 各テーマ（地域課題）別に、分析の視点や使うべきデータ、基礎的な統計知識を記載。
- 現在は人口編等を掲載しており、今後はコロナ回復編、デジ田戦略編を予定。
- 地方版総合戦略策定の際や若手職員を対象とした庁内研修等で活用が可能（編集自由）。

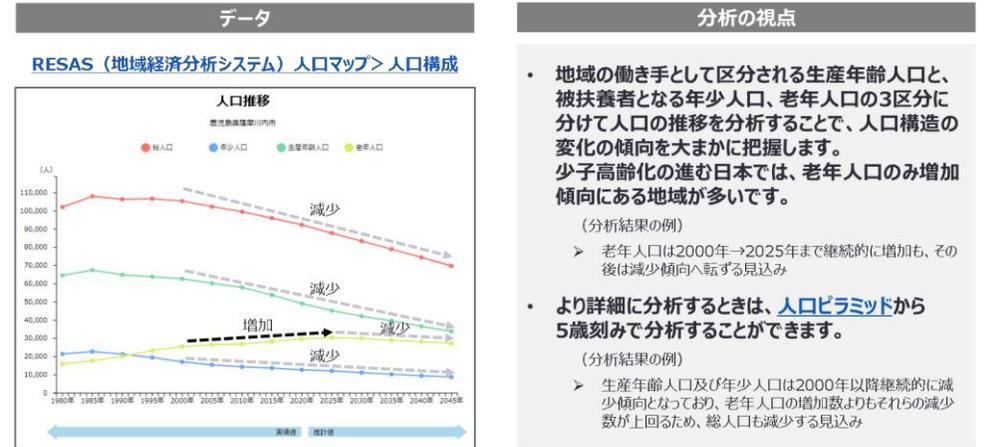
地域課題分析ナビゲーションのサンプル（テーマ：地域の人口減少）

分析の全体像：ステップに沿って分析を行うことで、優先的に取り組むべき人口課題を特定できます

ステップ	分析の概要	分析グラフ・データ
1 人口構成を把握する	自地域の人口推移及び人口構成を分析して、人口がどのように変化して、今後どうなるのかを把握します	<ul style="list-style-type: none"> 人口推移 人口ピラミッド
2 人口増減を把握する	人口増減の内訳（年齢区分、自然増減（出生数・死亡数）、社会増減（転入・転出数））を分析し、自地域の人口の変化がどのような理由で起こっているかを把握します	<ul style="list-style-type: none"> 人口増減 自然増減・社会増減の推移（折れ線） 出生数・死亡数 / 転入数・転出数
3 自然増減を把握する	人口変化の一因である自然増減について、出生数および地域の少子化の背景（未婚率、有配偶出生率など）を分析することで、出生数の増減の要因を把握します	<ul style="list-style-type: none"> 合計特殊出生率と人口推移 地域少子化指標
4 社会増減を把握する	人口変化の一因である社会増減について、世代別、地域別での転入・転出を分析し、転入促進・転出抑制すべき世代、地域を把握します	<ul style="list-style-type: none"> 年齢階級別（移動数の時系列）分析 From-to分析（常住人口）
5 将来人口推計を把握する	自地域の将来人口が自然増減、社会増減のどちらの影響をより大きく受けるのかを捉えて、改善すべき増減要因を把握します	<ul style="list-style-type: none"> 将来人口推計
6 人口構成をより詳細に把握する	自地域の人口構成をより細かい地域区分で分析することにより、課題を抱えている地域を把握します	<ul style="list-style-type: none"> 人口ピラミッドの構築（市内市庁舎加工） 藤原川内市「住民基本台帳人口」より年齢別階級別地域別「一覧表」の別列「年齢別人口
7 出生数の増減の要因を深慮する	自然増減について、より深慮したデータで分析することで出生数を増やすために注力すべき施策の検討の参考にします	<ul style="list-style-type: none"> 鹿児島県「人口動態統計調査」 鹿児島県は全数、法定地数、市町村別 鹿児島県は全数、法定地数（年齢別）、市町村別 鹿児島県は全数、法定地数（年齢別）、市町村別
8 転入転出の要因を深慮する	社会増減について、より深慮したデータで分析することで転入促進・転出抑制のために注力すべき施策の検討の参考にします	<ul style="list-style-type: none"> ダミーデータで表示 ※地域により、データの有無が異なります

人口推移

自地域の人口推移及び人口構成を分析して、人口がどのように変化して、今後どうなるのかを把握します



基礎知識

- 年齢別人口は、年少人口、生産年齢人口、老年人口に分けられます。
 - 年少人口：0歳～14歳の人口を指します。
 - 生産年齢人口：15歳～64歳の人口を指します。高齢社会とは、この人口が相対的に減少することです。
 - 老年人口：65歳以上の人口を指します。
- 日本全体では、2065年に老年人口の割合が約4割に高まる一方、生産年齢人口の割合は約5割に低下する見通しです。

政策立案ワークショップ

➤ 地方公共団体を対象にテーマを設定し、RESAS等のデータに基づく政策立案や施策の検討、効果検証など**EBPMの一連のプロセスについて、有識者や地方公共団体の幹部を招聘してワークショップ形式で行う**取り組み対象団体ごとに1～3回構成でテーマを設定。

➤ ワークショップで得られたデータに基づく施策の立案事例を全国に周知し、横展開を図る。

【開催実績】令和4年度11回、令和3年度5回、令和2年度1回、令和元年度6回、平成30年度 10回

【令和4年度 開催実績】

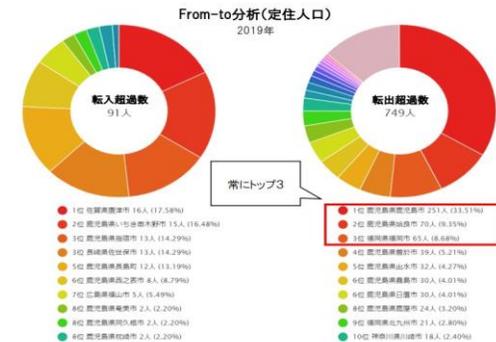
- **2022年6月24日、8月4日、9月7日 沖縄県宜野湾市**
 テーマ：市産業振興施策について
 有識者：EYストラテジー・アンド・コンサルティングの大村浩之氏
- **2022年6月28日、9月1日、10月4日 岐阜県瑞浪市**
 テーマ：瑞浪駅周辺開発事業
 有識者：森ビル株式会社の矢部俊男氏
- **2022年11月15日、12月28日、2月9日 埼玉県川越市**
 テーマ：さらなる地域経済循環のための企業立地施策の検討
 有識者：EYストラテジー・アンド・コンサルティングの大村浩之氏
- **2023年2月21日 秋田県鹿角市**
 テーマ：農業（きゅうり）
 有識者：東京農業大学総合研究所の末松広行氏
 国立研究開発法人農業・食品産業技術総合研究機構の安東赫氏
- **2023年3月14日 秋田県由利本荘市**
 テーマ：由利本荘市の若者と女性に魅力のある仕事創出
 有識者：神戸大学産官学連携推進本部の熊野正樹氏

【令和5年度 開催実績】

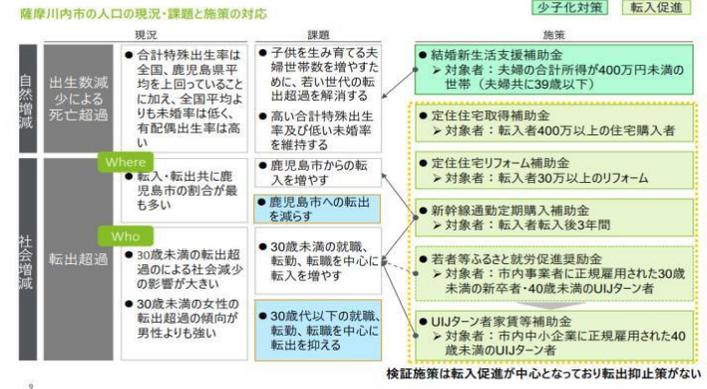
- **2023年8月4日、9月27日 千葉県市原市**
 テーマ：データに基づく移住定住施策のターゲット分析
 有識者：東京大学大学院工学系研究科の浅見泰司氏
- **2023年8月17日 沖縄県うるま市**
 テーマ：産業構造からみる市民所得向上戦略
 有識者：株式会社富士通総研の山尾一人氏

転入超過数・転出超過数

- 転入超過・転出超過の内訳は、鹿児島市や鹿児島市のベッドタウンである姪良市への転出が40%以上を占め、鹿児島市への就職・進学が主体と考えられる。
- 鹿児島市、姪良市、福岡市は直近9年間常に上位である。



30歳代以下の転出超過を解消する必要がある中、取り上げた施策は転入を促進するものが多く、どの課題にアプローチしているかが明確でないため課題とのミスマッチが生じている



RESAS研修

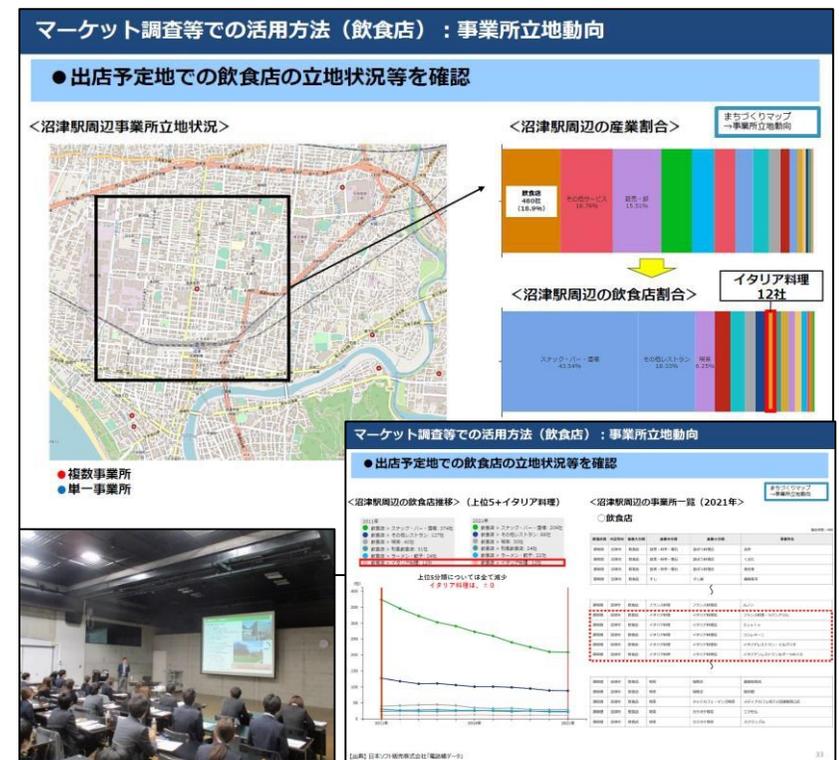
- RESASやデータ利活用の普及促進のため、政策調査員により、**RESAS分析手法や活用事例を紹介する研修**活動を実施。
- 地方公共団体や地域企業等の地方創生の担い手が地域経済に関するデータを活用したエビデンスに基づいた政策の企画立案（EBPM）や経営判断を行うことで、地方創生やデジタル田園都市国家構想の実現に向けた取組を効果的に進められるよう、情報面から支援。

【RESAS研修の概要】

- 目的
地域経済分析システム（RESAS）などのデータを活用し、地域経済をデータから分析し、政策立案や経営判断に生かすスキルの習得を目指す。
- 研修内容
RESAS分析手法、RESASの活用事例等について、講義およびグループワークによる研修を実施。研修時間：2時間程度
- 研修先
地方公共団体、教育機関、商工会議所等
- 派遣する講師
内閣官房デジタル田園都市国家構想実現会議事務局職員、各地方支分部局の職員・政策調査員、RESAS専門委員（有識者等）
- 申込み方法・連絡先
内閣官房または各地域の経済産業局・沖縄総合事務局まで申込み
連絡先：g.resas.g9g@cas.go.jp、03-3581-4541



【研修例】



データ分析セミナー

データ分析セミナー

➤ 目的

RESAS等を活用したデータ利活用スキル向上の支援を目的とする。

➤ 事業内容

有識者を招き、オンラインセミナーを実施。
セミナー終了後、動画と資料をHPで公開している。

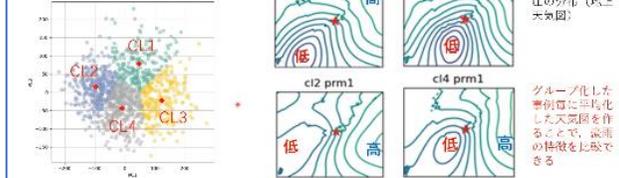
<https://www.chisou.go.jp/sousei/resas/dataseminar.html>



クラスター分析

・クラスター分析とは、多数のサンプルからなるデータをグループ（クラスター）に分類するための手法です。全体のユークリッド距離（類似性）が最小となるグループ化を行う。グループ毎に説明変数の統計値を比較することで、比較しやすくなります。

岐阜の観測所の天気図（全1200事例）に対する
PC1とPC2のクラスター分析(K-Means法)



開催実績（直近10回）

	開催日	テーマ	講師
第18回	2022年3月16日	地域活性化のための気象データ活用と実践	岐阜大学工学部付属応用気象研究センター 吉野 純氏
第19回	2022年3月25日	コロナ禍におけるテレワークの動向	ニッセイ基礎研究所 佐久間 誠氏
第20回	2022年4月15日	経済センサスから見る地域の現状	法政大学経済学部 菅 幹雄氏
第21回	2022年5月25日	地域の観光DX推進に向けた消費者購買データの活用策	株式会社True Data 米倉 裕之氏、越尾 由紀氏
第22回	2022年6月8日	地域健康課題解決のための健康・医療・介護・ライフスタイル環境等データの活用	筑波大学大学院 久野 譜也氏
第23回	2022年8月3日	ナッジを活用した政策立案と効果検証	三菱UFJリサーチ&コンサルティング株式会社 西畑 壮哉氏
第24回	2022年9月14日	農業現場におけるデータ利活用の現状と展開	国立研究開発法人農研機構 深津 時広氏
第25回	2022年10月19日	データ可視化でみる都市と地域の今	データアナリスト 奈良 和紘氏
第26回	2023年8月30日	政策立案に役立つアンケート設計の考え方	株式会社データビークル 西内 啓氏
第27回	2023年10月10日	地域の医療・介護の持続を考えるための公的統計ツールの活用	津田塾大学総合政策学部 伊藤 由希子氏

地方創生☆政策アイデアコンテスト

- RESAS、V-RESASを活用して地域の状況を分析し、データの力で地域を元気にするアイデアを広く募集する「地方創生☆政策アイデアコンテスト」を2015年度から毎年開催。
- 地方審査を通過した各地域ブロック代表について全国大会として最終審査会を実施。各ブロックから高校生・中学生以下の部9組、大学生以上一般の部9組の計18組が最終審査会に進出。
- 今年度の最終審査会は令和5年12月9日に開催。各アイデアにおける分析対象地域を紹介した後に出場者からプレゼンテーションを実施。高校生・中学生以下の部、大学生以上一般の部、官民連携の部について、それぞれ地方創生担当大臣賞、優秀賞を選出。

地方創生担当大臣賞 受賞チームの例

高校生・中学生以下の部

【タイトル】住みやすい町大台町を空き家で人口増加プロジェクト

【チーム名】三重県立昇学園高等学校 山中 百合花

【分析地域】三重県大台町

[地域の課題]

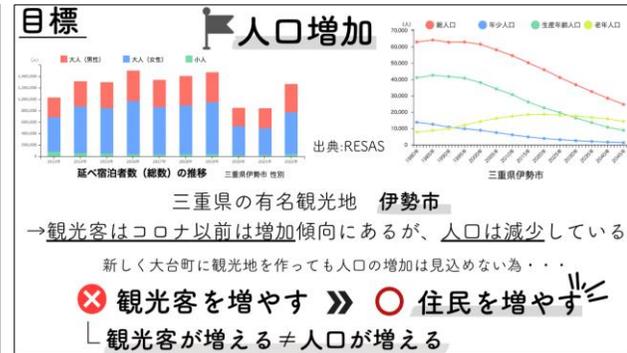
少子高齢化や転出超過による、人口減少が課題。

[分析内容]

RESAS等により、他地域を参考に、新しく大台町に観光地を作っても人口の増加は見込めないことを把握。

[政策アイデア]

「お試し移住」と称し、空き家をお試し移住の施設に利用することで、人口増加・空き家の有効利用に繋げるアイデアを提案。



アイデア 「お試し移住」

🏠 空き家を活用

📅 1年間お試し

自分に合う環境か確認できる！

- 地域の価値観
- ・春夏秋冬の気候や様子
- ・過ごしやすさ

now 大台町の空き家の取り組み

- ・空き家バンク
- 539件→225件利用可能
- 123件契約成立
- (登録していない空き家も多数)

しかし、空き家利用者よりも、**空き家の方が増え続けている**

↓

本格的に移住するには移住先の四季や雰囲気を知っておく必要がある。

↓

空き家をお試し移住の施設に利用することで人口増加・空き家の有効利用に繋がる。

地方創生☆政策アイデアコンテスト2023

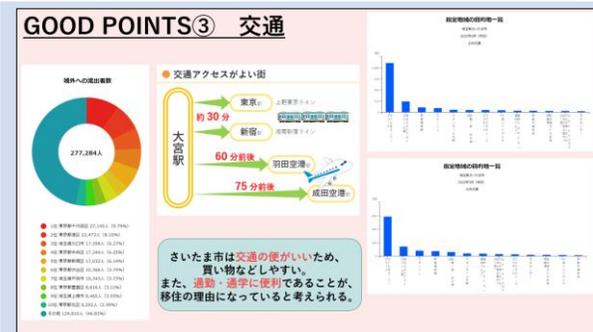
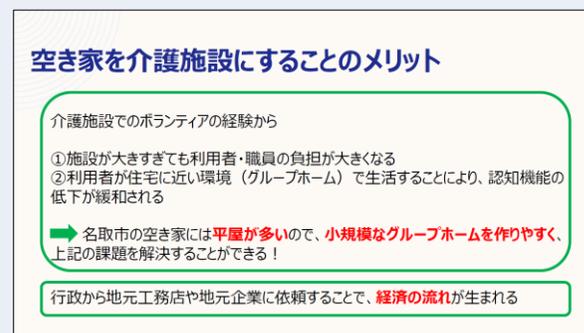
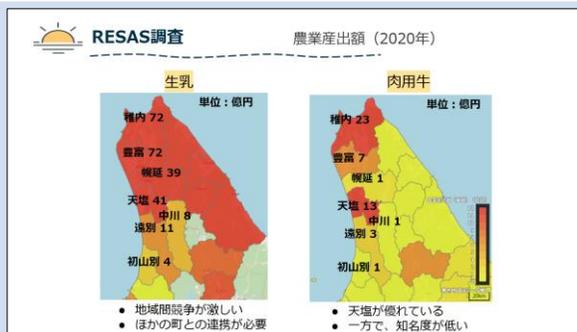
最終審査会進出者 一覧



・ 高校生・中学生以下の部（発表順）

代表ブロック	北海道	東北	関東
分析地域	北海道天塩町	宮城県名取市	埼玉県さいたま市
所属・チーム名等	北海道天塩高等学校6班	東北学院高等学校 大友 滉	さいたま市立大宮国際中等教育学校 大場 莉乃
タイトル	夕日+a?!	名取市の空き家問題解決に向けて	さいたま市を公園で活性化
政策アイデア	夕日を生かした天塩らしい特産品を作り、道の駅や地元観光地での販売・ふるさと納税の返礼品として活用。	名取市の空き家問題を解決するため、行政・民間・地域住民の協働により、今ある空き家を介護施設にリノベーションするアイデアを提案。	駅周辺に公共施設や公園等を整備することにより、地域コミュニティの活性化を図るとともに駅周辺を町の中心市街地とするアイデアを提案。

応募者のプレゼンテーション



地方創生☆政策アイデアコンテスト2023

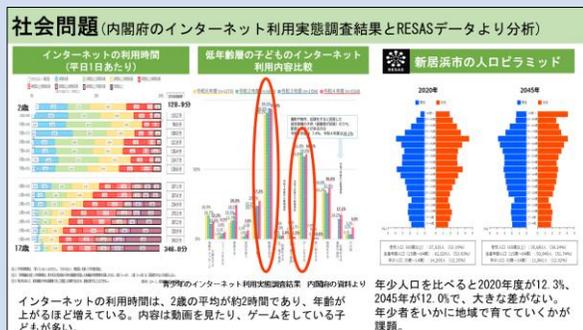
最終審査会進出者 一覧



高校生・中学生以下の部（発表順）

代表ブロック	四国	九州	沖縄
分析地域	愛媛県新居浜市	鹿児島県垂水市	沖縄県多良間村
所属・チーム名等	愛媛県立新居浜商業高等学校 チームNC	鹿児島県立垂水高等学校/垂水高校3年1組	東京都立清瀬高等学校 (公共・小松担当クラス)
タイトル	スポ活しよう！ ～スポーツで地域活性化～	たるみず“食”で元気プロジェクト ～食と健康で創るまち～	バガス食品で廃棄削減
政策アイデア	スポーツで地域活性化を目指し、住友金属鉱山鉄道跡を利用したサイクリングの促進、レンタサイクルの貸出施設の設置、継続的なスポーツイベントの開催を提案。	垂水市を“食”で元気にするとともに、全世代を対象とした健康増進・疾病予防を図るため、垂水市で生産されている農水産物のうち、学術的に効能が証明されているかんぱち等の活用等を提案。	食品としてバガスの消費を活発にし、バガスの廃棄を減らすため、バガススイーツの新商品をSNSで募集。

応募者のプレゼンテーション



課題やSWOT分析から政策アイデアを考察

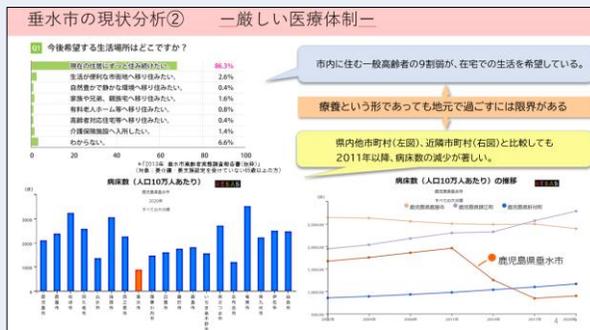
ジュニア世代をターゲット
スポーツする場を提供、基礎体力の向上を目指したい

安全にスポーツを楽しんだり、指導者による適切なアドバイスを受けられ、サイクリングなどができる場所が必要

自転車を利用することで、CO₂（二酸化炭素）の排出を抑制できる。健康増進効果だけでなく、**地球温暖化防止にも貢献**できる。

政策アイデア

- ★サイクリングの促進とレンタサイクルの貸出施設を市内に設置
- ★スポーツクラブの活動推進と継続的なイベント提案



今後の展望 一食と健康で創るまち一

IoTを実体験できる学びへ

垂水高校の学びの中で、給食予約システムや各店舗との連携システムのアプリ開発等の結果に取り組み、県や民間の起業支援を利用する。

赤ちゃんから高齢者まで幸福度の高いまちを**食と健康**で創る

疾病予防と健康増進、介護予防などによって、平均寿命と健康寿命の差を縮小することができれば、個人の生活の質(QOL)の低下を防ぐとともに、社会保障負担の軽減も期待できる。

自分らしく生きる地域へ

たるみず“食”で元気プロジェクト



アイデアの詳細

バガススイーツの新商品をSNSで募集

バガスは、水分の吸収率が高く、素人がスイーツ作りに使用するのは難しい。そのため、**商品が市場にほとんど展開されていない**。私たちは、実現したいスイーツのレシピや写真をSNSで募集し、情報を収集・分析し、アイデアをお店に提案する。

結果
バガスを使った商品販売、バガス消費を促すことができると考えた！
*提案したスイーツを採用、商品化についてはお店の判断に委ねる。



・ 大学生以上一般の部（発表順）

代表ブロック	中部	近畿	中国
分析地域	愛知県常滑市	福井県あわら市	岡山県久米南町
所属・チーム名等	南山大学神野ゼミC班	福井大学大学院工学研究科 産業創成工学専攻 経営・技術革新工学コース 竹本研究室/チームあわら	中国学園大学・久米南町
タイトル	常滑市といえば、、常滑焼!!!に	～QRでご紹介～ チャリで巡る！絶景AwaLand	久米南町「食」のサブスクリプションサービス
政策アイデア	外国人観光客向けのPR施策を実施するとともに、町の名称にちなんだ「合格祈願のまち」としてのPR施策を実施することで常滑焼の認知度向上・需要喚起を目指す。	観光客が目的地としている観光地間にある穴場スポットを自転車で回れるよう、QRコードを記載した看板により紹介し、あわら市全体に誘客することで街の活性化を目指す。	定額料金で月に1回久米南町農産物のサービスを受けられる「食」のサブスクリプションサービスの提供を通じ、農業の売上向上や関係人口の獲得による地域活性化を目指す。
応募者のプレゼンテーション	<p>現状の課題③ 後継者不足</p> <p>常滑焼の従業者数の推移 (RESASより) 従業者数の推移 常滑市の農業・土製品製造業（常滑焼）に関わる従業者数が減少傾向である 現在はピークの30%ほど</p> <p>※SDGsの中にも… 8.9 2030年までに、雇用創出、地方の文化復興、産業促進につながる持続可能な観光業を促進するための 観光業を奨励し実装する。 11.4 世界の文化遺産及び自然遺産の保護・保全の努力を強化する。 伝統文化の継承は大切！！</p> <p>将来人口推計 常滑市の将来人口推計から、年少人口、生産年齢人口が減少していくことが分かる</p> <p>後継者不足が課題</p>	<p>1-3. あわら市を観光する上での課題</p> <p>疑問：観光客目線で二次交通は十分なのか</p> <p>①データの収集方法 RESASの近距離移動時間分析を用いた。各新幹線の駅として、東海道新幹線と北陸新幹線(2024年3月に東海道新幹線が開通予定)で使われる駅を抽出した。観光地は、美珠・ラピス・じやらら〜一体・18000ヶ所を参考に、その周辺の2kmを抽出した。各駅からそれぞれ観光地までの公共交通機関と車でかかる時間を近距離移動マップにより求めた。その後、 (割合) = (観光地に公共交通機関でかかる時間 / 観光地に公共交通機関でかかる時間 + 観光地に公共交通機関でかかる時間) × 12 とし平均を求めた。その結果をFig.3に示す。</p> <p>②結果 新幹線から各観光地まで、公共交通機関で向かう際の時間と、車移動で向かう際の時間を比較した際、あわら市は最も比率が高いことが分かった</p> <p>③課題 あわらの二次交通（公共交通機関）は他の地域に比べ発達していない</p> <p>④目標 あわら市の観光に適した交通手段を普及させる</p> <p>Fig.3 車移動と公共交通機関の所要時間の比率 RESAS2023年度より筆者作成</p>	<p>久米南町の「農業経営者の年齢構成と平均年齢」</p> <ul style="list-style-type: none"> 農業を担う人材の高齢化が、売上高や付加価値額の伸び悩みの要因の一つと考察 若い人材や町の農業に参画する人材の確保する取り組みが必要 <p>65歳以上の割合が6割を超えており、7割も目標</p> <p>【出典】RESAS(地域経済分析システム)「農業生産者」/農林水産省</p>
	<p>課題解決に向けて ②「合格祈願のまち」としてのPR</p> <p>「合格祈願のまち」としてPRする 「常滑（とこなめ）」一帯に滑る→とつもなく縁起が悪い！！</p> <p>縁起が悪く余計に人が寄らなくなるのでは？</p> <p>「滑」を反転させることで意味を逆転させ、「常に滑らない」に変身させる</p> <p>陶磁器を地面に埋め込み凹凸を作ること、「滑り止め」の機能を果たしている</p> <p>縁起よし！</p> <p>縁起直しプロジェクト</p>	<p>4-3. 提案を導入することで生まれる好循環</p> <p>「旅行」×「新たな観光体験」×「街の活性化」の好循環 AwaLand化の好循環</p> <p>旅行 保護・休息を求めて自然豊かな特徴を持つあわら市に訪れる</p> <p>街の活性化の向上 街全体が受ける観光消費により、観光地の整備だけでなく街の整備、新しい体験の創出による余裕を生む</p> <p>街の活性化 主要観光地だけでなく街全体で観光消費が行われ、街全体が活性化される。また、レンタルサイクルを用いた観光客あわらの一つの魅力に！</p> <p>新たな観光体験 自転車であわら市の自然を満喫しながら周辺の穴場スポットの情報を収集しあわら市全体の観光へ</p> <p>街全体の観光消費 QRコード付き看板で得られる情報から観光客をあわら市全体に誘客</p> <p>本提案を導入することにより旅行・新たな観光体験・街の活性化の3つのサイクルの好循環が生まれあわら市全体が活性化し、継続的な観光客の増進と街の活性化の向上が見込める</p>	<p>久米南町「食のサブスク」サービスとは</p> <p>サブスクリプションとは、月単位・年単位で定期的に料金を支払うことで得られるサービス</p> <p>久米南町の農業サービス（宅配、体験、食事）を行うことで得られるサービス（年間費：49,800円）</p> <p>「目的」 久米南町に1人でも多くのファンと関係人口を獲得し、地域活性化を行う。本サービスに取り組むことで、農業・飲食店の売上に貢献するだけでなく、農業の人手不足解決、観光業の発展に寄与することを目的とする</p> <p>毎月「宅配」「体験」「食事」の3つを楽しむ！（日本初） 2020年より中国学園大学×久米南町で「実証実験」スタート</p> <p>1 農産物の宅配 2 体験（ロープレイング） 3 食事</p> <p>【出典】RESAS(地域経済分析システム)「農業生産者」/農林水産省</p>

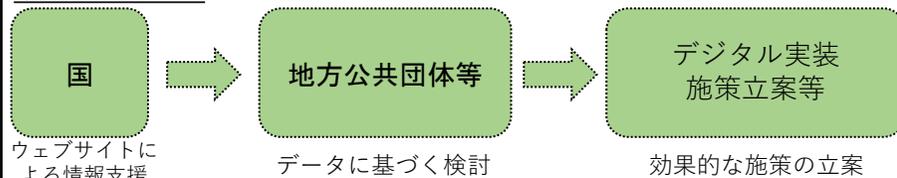
デジタル実装状況の可視化による情報支援事業費（内閣府地方創生推進室）

令和5年度補正予算額 2.62億円

事業概要・目的

- デジタル田園都市国家構想総合戦略を踏まえ、各地方公共団体において地方版総合戦略の策定やデジタル実装に向けた各種取組が行われているところ、デジタル実装を一層加速させるには、国内各地でのデジタル実装状況を可視化して提供し、効果的な施策検討支援や優良事例の横展開をする取組が必要です。
- 本事業では、地域のオープンデータを活用して各地域のデジタル実装状況等を分析・評価する基盤の提供により、デジタル田園都市国家構想の実現を情報面で支援します。

活用スキーム



資金の流れ



事業イメージ・具体例

- 地方公共団体によるデジタル実装の状況を可視化したマップに、地域のオープンデータを合わせて表示させることにより、各地域の足元の状況を踏まえたデジタル化の進捗状況等を分析・評価するための基盤を提供します。
- これにより、地域の構造的な社会課題、自地域のデジタル実装状況及び他地域のデジタル実装の優良事例等の情報を地方公共団体等が把握することを促し、効果的なデジタル実装施策等の検討を情報面で支援します。

期待される効果

- デジタル実装状況について、地域の足元のデータに基づく議論が促されることで、効果的な施策立案がなされ、デジタル田園都市国家構想が早期に実現することが期待されます。